

防災情報について

5段階の警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報
5	<p>災害がすでに発生しており、命を守るための最善の行動をとる</p>	<p>災害発生情報 ※可能な範囲で発令 ・大雨特別警報発表時は、避難勧告等の対象範囲を再度確認</p>	<p>大雨特別警報</p>
4	<p>速やかに避難</p> <p>・危険な区域の外の少しでも安全な場所に速やかに避難</p>	<p>避難指示(緊急) ※緊急時又は重ねて避難を促す場合等に発令</p> <p>避難勧告</p>	<p>土砂災害警戒情報</p> <p>※2 高潮警報</p> <p>高潮特別警報</p>
3	<p>避難準備が整い次第、避難開始</p> <p>高齢者等は速やかに避難</p>	<p>避難準備・高齢者等避難開始</p>	<p>※1 大雨警報 洪水警報</p> <p>高潮警報に切り替える可能性が高い 注意報</p>
2	<p>ハザードマップ等で避難行動を確認</p>		<p>大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報</p> <p>大雨注意報 洪水注意報</p> <p>高潮注意報</p>
1	<p>災害への心構えを高める</p>	<p>・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認</p>	<p>早期注意情報(警報級の可能性)</p>

➤ 警戒レベル3以上とは 気象庁等の情報で、大雨警報、洪水警報、土砂災害警戒情報、大雨特別警報、暴風警報 が該当します。

暮らしの歳時記

白露：9月7日 二十四節気のひとつで、草の葉に露が結ぶことから「白露」。夜の間には空気が冷えて、朝露がおりるようになる頃という意味です。日中はまだまだ暑さが続きますが、日が落ちてしまえば少し涼しい気配を感じる日が出てきます。このころになると、日本の上空に大陸育ちの乾燥した高気圧が張り出してくることから、より空が高く澄んだ青色に変化してきます。また夏の名残の雲と、秋の鱗雲や巻雲が同時に空に浮かぶ現象がみられることがあります。暑気と冷気が行き合うことから起こる、この時期ならではの空模様です。

秋分：9月22日 天文学上「昼と夜の長さがほぼ等しくなる日」、この日を境に夜が長くなり「秋の夜長」のシーズンに入ります。このころには空気もひんやりとし金木犀の黄色い花の香が漂うこととなります。